

3 学期始業式 式辞

2021. 1. 8

皆さん、あけましておめでとうございます。

大きな事故もなく、無事に全員そろって、新学期を迎えられることをうれしく思います。2 学期の終業式で、浮き足立たずに『継続』すること、どんな状況でも『笑顔』を忘れないことをお願いしましたが、皆さん本当によく頑張ってくれたと思います。コロナの感染状況がよくない中で気分が沈みがちですので、今日は、2 学期終了後に頑張った皆さんを称賛して、新学期を明るくスタートしたいと思います。

まず、学業面では、後輩の応援メッセージ、PTA の皆さんの飲料水の差し入れ、そして高石学年主任の名言集に背中を押され、無事年越特訓をやり遂げた3 年生の皆さんに敬意を表したいと思います。受験は、いつでも苦しいものですが、特に現在の状況は、メンタルタフネスが要求されます。私の祖母の口癖は、『なるようにしかならん』そして『何とかなる』でしたが、感染には細心の注意を払いながらも、ある種の開き直りも必要かと思います。どうか、いい意味で腹を括って受験に臨んでください。

また、今年度から始めたエンパワーメントプログラム。オールイングリッシュでの5 日間でしたが、潜在能力を引き出し、自立性を高め積極性を身に付ける、まさにその目標どおり、日に日に変わっていく皆さんを見ていることは本当に楽しいことでした。『自分の中にある悩みや、今、自分が思っている世界はなんとちっぽけなんだろうと思った』というある生徒の感想を読みましたが、他人と比較せずにとんどん失敗することが大切です。来年は、あなたの参加を待っています。

研究活動では、NPO 松北興居島ボランティアチームが、『愛 Land まつやま』環境保全プロジェクトで「えひめ地域づくりアワード・ユース 2020」奨励賞、人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル甲子園 2020」での「Team ごご島」環境保全プロジェクトが四国ブロック代表として本選出場、家庭科ホームプロジェクトコンクールで濱田志歩さんの作品『高齢者のヘルシーおやつ』が佳作入賞しました。

部活動では、動画コンテスト愛顔アオハルカップのグランプリ『松北狙い撃ち』は、今年の部活動のモヤモヤを吹き飛ばす爽快な作品でした。生徒会の皆さんによる中学生への学校紹介の動画作成の際も感じたのですが、今後も学校運営の際に皆さんの感性を生かして、より楽しい学校にしていってください。

卓球部では、県高校卓球選抜大会男子団体優勝で四国選抜予選出場、小原歓大君の全日本卓球選手権大会出場、ハンドボール部では、県高校選抜大会で、女子が準優勝で四国選抜予選出場、ソフトテニス部では、県高校選抜大会男子個人で村上君・山本君組がベスト8で四国大会出場、愛顔スポーツ部では、JOCカップ全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会で越智大翔君がショートトラック男子1000m優勝し全日本選手権大会に出場、全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会へ宮本晃矢君が出場、JFA全日本U-18女子サッカー選手権大会に藤澤和心さんと中田歩実さんが愛媛FCレディースMIKANとして出場と、本当に沢山の生徒が成果を上げてくれています。また、陸上部の池田海君、愛顔のえひめ文化・スポーツ賞受賞おめでとう。野本唯人君と2月5日からの2021全日本室内陸上競技大阪大会で頑張ってください。

1月11日には、坂の上の雲ミュージアムで行われる秋山好古祭2021で、放送部のリレー朗読、コーラス部の活動があります。また、美術部の皆さん、沢山の私の似顔絵をありがとうございました。家族には好評でした。

さて、ここまで称賛した活動は、ほとんどHPにUPされていますが、最近特に本校HPが充実してアクセス数も多いですね。私も楽しみにしていますが、中心になって作成してくれている大西先生に、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。いつもありがとうございます。

先に述べたように、エンパワーメントとは、本来もっている能力を引き出し開花させることがねらいです。自分と他の人を肯定すること、つまり自他肯定感を持って、その良さを引き出すことが大切です。コロナの感染には細心の注意を払いながら、自分と他人の長所・良い点を認め合って、皆が自信を持って学校生活を送れる3学期にしていきましょう。

歴史の教科書で学んだように、人類は、この100年でも、二度の世界大戦や未曾有の災害を乗り越えてきています。自分たちが未来を切り拓いていくんだという大きな志をもって、日々努力を継続することをお願いして式辞とします。一緒に頑張りましょう。